TADOKU JUNIOR　せかいのなぜなに神話　★★★☆☆ ふつう　380語

Why the Peetweet cries for Rain

ピートウィートはなぜ雨をよぶ

Florence Holbrook（1902年の本）　原文そのまま　朗読：Alex

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？　大いなるお父さまは鳥たちに、水たちに行き先を教える仕事をたのみます。みんなはりきりますが、なまけ者のピートウィートだけは……。



"Come to me, every bird that flies," said the Great Father. "There is work to be done that only my birds can do."

The birds were happy that they could do something to please the Great Father, for they remembered how good he had always been to them. They flew to him eagerly to ask what they should do for him. "O Great Father," they sang all together, "tell us what we can do for you."

"The waters that I have made know not where to go," said the Father. "Some should go to the seas, some should go to the lakes in the hollows among the mountains, and some should make rivers that will dance over the rocks and through the fields on their way to the sea."

"And can even as small a bird as I show them where to go?" asked the sparrow eagerly.

"Yes," said the Father, "even my little humming-bird can help me."

Every bird that flies had come to the Father, but the peetweet had come last because he was lazy.

"I do not really wish to fly all over the earth," said he, "to show the waters where to go."

"Oh, I wish I were a bird," said a butterfly. "I should be so glad to do something for the Father."

But the peetweet went on, "I should think the lakes could find their way into the hollows of the mountains by themselves."

The Father heard the lazy peetweet, and he said, "Do you not wish to show the waters where to go?"

"They never showed me where to go," said the lazy bird. "I am not thirsty. Let whoever is thirsty and needs the water help the lakes and rivers."

The other birds all stood still in wonder. "He will be punished," they whispered.

"Yes, he must be punished," said the Father sadly. Then said he to the lazy peetweet, "Never again shall you drink of the water that is in river or lake. When you are thirsty, you must look for a hollow in the rock where the rain has fallen, and there only shall you drink."

That is why the peetweet flies over river and lake, but ever cries eagerly, "Peet-weet, peet-weet!" for that is his word for "Rain, rain!"

「空をとぶ鳥たちよ、みんなわたしのところへおいで」と大いなるお父さまは言いました。「わたしの鳥たちにしかできない仕事があるのだ。」

鳥たちは、大いなるお父さまによろこんでもらえることができるのがうれしくてたまりませんでした。お父さまがいつも自分たちにやさしくしてくれたことを、おぼえていたからです。鳥たちは、お父さまのために何をすればいいのか聞こうと、いさんでとんでいきました。「おお、大いなるお父さま」と鳥たちはみんなで声をそろえて歌いました。「わたしたちにできることを教えてください。」

「わたしがつくった水たちは、どこへ行けばいいのかわからないのだ」とお父さまは言いました。「海へ行くものもあれば、山のあいだのくぼ地にある湖へ行くものもある。そして、岩の上や野原をおどるように流れながら海へ向かう川になるものもあるのだ。」

「わたしみたいに小さな鳥でも、水たちに行き先を教えられますか？」とスズメがはりきってききました。

「ああ、できるとも」とお父さまは言いました。「小さなハチドリでさえ、手つだってくれるのだよ。」

空をとぶ鳥はみんなお父さまのところへやってきましたが、ピートウィートはなまけ者だったので、いちばんさいごにやってきました。

「世界じゅうをとび回って、水たちに行き先を教えるなんて、ほんとうはしたくないなあ」とピートウィートは言いました。

「ああ、わたしが鳥だったらいいのに」とチョウが言いました。「お父さまのために何かできたら、とてもうれしいのに。」

けれども、ピートウィートはつづけました。「湖なんて、山のくぼ地くらい自分で見つけられると思うけどな。」

お父さまは、なまけ者のピートウィートの言葉を聞いて言いました。「水たちに行き先を教えたくないのかね？」

「水たちは、ぼくに行き先を教えてくれたことなんかありません」となまけ者の鳥は言いました。「ぼくはのどがかわいていません。のどがかわいて水がほしい者が、湖や川を手つだえばいいんです。」

ほかの鳥たちはみんな、びっくりして立ちつくしました。「ばつをうけるぞ」と鳥たちはささやきました。

「そうだ、ばつをうけなければならない」とお父さまはかなしそうに言いました。そしてお父さまは、なまけ者のピートウィートに言いました。「おまえはもう二度と、川や湖の水を飲んではならない。のどがかわいたら、雨のたまった岩のくぼみをさがして、そこの水だけを飲みなさい。」

こういうわけで、ピートウィートは川や湖の上をとびながらも、いつも「ピートウィート、ピートウィート！」と、いっしょうけんめいないているのです。それはピートウィートの言葉で「雨、雨！」という意味なのです。

たんご と クイズ　ピートウィートはなぜ雨をよぶ

seas 海	**lakes** 湖	**rivers** 川
sparrow スズメ	**humming-bird** ハチドリ	**butterfly** チョウ
thirsty のどがかわいた	**rain** 雨	

Q1 お父さまが鳥たちにたのんだ仕事は？

① 水たちに行き先を教えること　② 巣をつくること　③ 歌をうたうこと

Q2 「わたしが鳥だったらいいのに」と言ったのはだれ？

① スズメ　② ハチドリ　③ チョウ

Q3 ピートウィートは、どこの水しか飲めなくなった？

① 海の水　② 岩のくぼみにたまった雨水　③ 川の水

こたえ

Q1 ① お父さまがつくった水たちはどこへ行けばいいのかわからないので、鳥たちに行き先を教えてほしかったのです。

Q2 ③ チョウは、鳥だったらお父さまのために何かできてうれしいのに、と言いました。

Q3 ② なまけ者のピートウィートは、川や湖の水を飲めなくなり、岩のくぼみにたまった雨水だけを飲むことになりました。

原田英語の多読ベストジュニア
本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。
haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典　英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #22420（Florence Holbrook、1902年）。パブリックドメイン。
挿絵：この本には挿絵がないため、場面をイメージして AI（Codex）で描いた絵です。
朗読（Web版）：Alex（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）
和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは３重チェック。人の目でも順次確認しています。